

三菱UFJ環境財団

水源の森

長くきびしい冬の季節が
つて、水源の森にも春が！

降り積もって固められた雪に
つぶされ、大地に伏していた枝
もはねあがって、芽吹きます。

氷がとけて……どうなる？
春が来るといふ人と、水になる
といふ人と。

光合成は、 $\text{CO}_2 + \text{H}_2\text{O}$ そして太陽の恵み。なんだ、材料費も運賃
もただじゃないか、などといわないでください！ 何億年と続けられて
いる、この極めて単純な営みの積み重ねが、地球のすべてのいのちを支

えているのですから。

春の光は、日に日に暖かさを
増すけれど、地面の中はまだ凍
ってるかもしれない。植物たち
は、氷をとかすような体温は持
っていないし、氷は吸い上げら
れない。どんな生きものも、か
らだ中を水がかかけめぐらな
ければ生きていけないのです。

雪と氷の半年もの冬を過ぎ
ての、今が待ちわびた山の春な
のです！！





ここが利根川 322km の水源の森

坂東太郎ともいわれる利根川の長さは、322km と、信濃川についての2位です。

流域面積は日本最大で、16,840 k m²、四国の広さと同じくらい。かつての利根川は、東京湾に流れ込む1本の大河でした——。

その源流域は、日本列島の背骨に当たる山々のほぼ中央、三国山地の大水上山（標高1,830m）です。

シベリアの高気圧から吹き出され、日本海の水分をたっぷりと吸いこんだ風は、この山々にぶちあたって大雪を降らせる。そんな群馬県の最北端に位置しているのが、ここ水源の森なのです。

里にはとっくに春が来ても、北側にそびえる山々はまだまっ白。そうした雪解け水が、日向倉沢に、湯の小屋川に流れこんでいるんです。



利根川の源流・大水上山の探検記をはじめ、奥利根のロマンを満載した本が“俺の仕事は俺一代”です。ぜひぜひ。水曜社刊。



根もとはみんな 曲がっている！

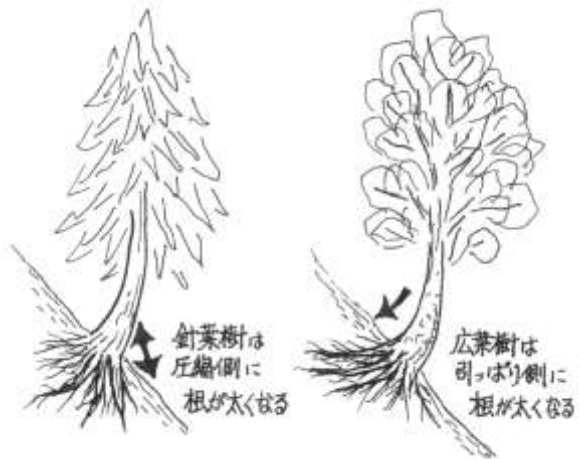
斜面に生えている木を見ると、根もとはみんな曲がっているのに気がつきました？道路の下側、溪流沿いの林では下枝が垂れ下がっている。上向きの枝と下向きの枝、この境目あたりが、たぶん冬の平均的な積雪の深さです。

雪はフワフワかサラサラか。密度（比重）は水よりずっと軽く、建築屋さんには積雪荷重を0.2~0.3と計算します。でも、その雪がとけかかって、締まってくると、とても計算できない、おそろしい破壊力を発揮するんです。橋も、軒先も、家までも押しつぶしてしまう。

斜面では、くっついて固まった雪の集団がずり落ちてきて、垂直に立ちあがろうとする幹を曲げてしまうのです。

それに耐えて、倒れまいとする根のふんばりも大変なものです。どちらへどう根を張るか？ その対策は針葉樹と広葉樹では正反対に。細胞分裂を制御する生長ホルモンの分泌が違うらしいのです。

どっちが効率いいのか、どっちが進化していると考えたらいいのでしょうか？



山は春 草も木も 花ざかり

“花の咲かない草や木を探そう”という、
いろんな意見がとびだします。あなただったら
……？

ヒトは花を見て大喜び、歓声をあげるけれど、
花は次世代に夢を託す、生物としての基本的な

作業です。

むやみに雑

種を作った

りはしない慎み深さと、許された範
囲で多様性を作り出そうという考え
とのバランス。

これから先、地球環境はどうなる
かわからないし、仲間のうちのどれ
かが生き残れるようにとの願いをこ
めて。

花びらがきれいで、蜜を出す植物
たちは、この地球に昆虫たちが生ま
れて以来、手探りの進化をいっしょ
に続けてきた新しいグループです。

どこかに蝶やハナアブは？ 虫た
ちも今は、恋の季節かもしれません。

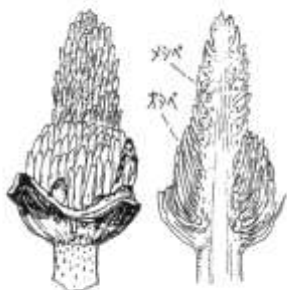


ウワミズサクラ
サクラみたいでない サクラの仲間
語源は 上不見説と古説とある
赤い実を塩漬けや果実酒に



タムシバ
タムシバ(モクレン科)
コブシヒビコがちがう？

秋には赤の実が
まぶかひてたれがさる



山に落ちていた ホオノキの花
クマにかじられた……？
花の蜜が糖分だけなのに対し
ツボミヤ花は蛋白質やミネラルも

新芽は自然の おいしい贈りもの

地面から、枝の先端から、伸びる新芽はみんなおいしそう！香りやホロにがさをなくしてしまった近頃の野菜とは違って、大昔からの自然を感じさせてくれます。

食卓に並ぶ山野草の新芽は、植物体の中で、いつ頃に作り始められたのでしょうか。たぶん半年も前です。雪どけの水を吸ってふくらめばいいまでに準備をすすめ、春を待っていた！

冬芽の中に、2つ折りだったり、くるくると丸めてあったり、せんすのようにキチンと折りたたんで収納されて、出番を待っていたのです。



自分でとる時の注意事項 ——。

1. 全部とりつくしてしまわない。あとから来るヒトやこの野山で暮す生きもののために。下葉や根は必ず残す。
2. 有毒のものもある。葉の開かない小さいものはみんな同じように見えて種類がわからないことも。地元の人に確かめて。

食卓に並んだ新芽は、どんな花を咲かせるつもりだったのかな？！



シユウマと呼ばれる葉もいろいろ……



フキハク
あなじみの赤口にがさ



秋の紅葉はユニークな
明るい黄緑色 (ウコギ科)

垂直にとまれるのは少数派。なれてくるとシルエットでも見当がつくようになる。この近くに
いそうなのはどれ？



横枝にとまると「から」はたてて幹につかま、たか？
減速して小枝をかくくり直落着にしがみつかたか？

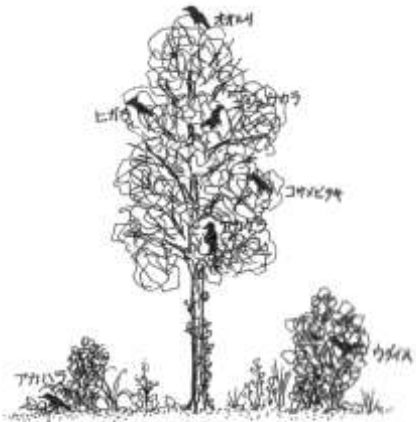


早起きして 鳥といっしょに

“トリ目”という言葉は、ニワトリだけのようです。フクロウのような夜行性の鳥もいるし——。でもほとんどの鳥は、夜あけと同時に動きだす。早朝がバードウォッチングのチャンスです。

山へ来たら早起き。鳥を見に、そして鳥の声を聞きに出かけましょう。どんなグループにも鳥に詳しい人がいますから、そうした人を案内役に。

図鑑などには、きれいな写真がのっていますが、それらは辛抱強くチャンスを待っての作品で、ふつうはそんなにはっきりと色やかたちが見えません。



木上所でよく見かける鳥は60種以上に言われています
人里がすぎ、海風がすぎ、森がすぎと暮す場所もさまざま
1本の木に そのまわりにも、それぞれ流のすみわけが……

あつという間に飛んで行ったり、逆光線でシルエットでしか見えなかったり。カモシカもそうですが、相手は動いてる野性の動物です。めぐりあえるだけでしあわせ、というつもりで。種類の区別だけではなくて、どこから飛んできて枝のどこにとまった？ 何をたべているのだろうか？ 雨の日や夜はどこにいるなどと、いろんな視点での感じ方、考え方を。



ケイタイ 持っていますか？



ここ、水源の森にはトイレがありません。水の汚れを防ぎ、保たれてきた自然を守るために。

あなたの中に、断片的にとり入れられている情報や日常会話を整理してみましょう。

富栄養化。肥料不足で育ちが悪い。有機栽培。水清くして……。大腸菌。合併浄化槽……などなど。こうした言葉がうまく、生活と結びついて、つながっているといいのですが。

多くの山では過剰な排泄物処理に困っていて、携帯トイレ持参を義務づけようという動きもあります。さあ、あなたなら、どうする？

地面の下の生きものたち

林の道がフワフワと気持ちいいのは、何年分かの落葉がクッションになってくれるから。靴底の広さの地面に、何千万もの微生物たちが有機物分解にはげんでいるわけです。

土の中といえば、ミミズも落葉の破片をたべて土を作る。もっと大きいき物はネズミやモグラの仲間たち。

林の中には、あなたが見逃していた生き物たちも、たくさんいるんです。



暮らしかたがらうとカたちもちがう
・ハクネズミ 土をいじり 草食 木の葉をかじる
・アカネズミ 木に巣をこむ 木の葉や虫をたべる



ヒメズは「目不見」 主食はミミズ
モグラの仲間のみ食虫目

三菱UFJ環境財団 「水源の森」のご案内

●アコース?
自然体験「上ノ高原」より車で49～50分
奥多摩自動車道「水上」インターより30～40分



水源の森を歩き回った感想は、いかがでしたか？

標高差 300m、川沿いの風景からカラマツ林、そして天然林と、15haの広さの中でバラエティ豊かな自然のいぶきを感じとられたと思います。

でも、それは奥利根・藤原の里のほんの一部です。車で素通りしてしまった風景、人と自然との長いかわりを、この機会に探しながら歩いてください！

文とイラスト 高野 史郎
表紙とかわいいイラスト 浦田 慈子

〒105-0014 東京都港区芝 2-4-3

三菱東京UFJ銀行芝ビル

TEL : 03-5730-0337 FAX : 03-5232-0312

公益財団法人 三菱UFJ環境財団